

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 12 月 20 日作成)

小委員会名	土地利用計画小委員会	主 査 名：浦山益郎 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：小林英嗣
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2011 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国および欧米の都市マスタープラン改訂に係る将来都市構造図などの分析を通じて、非成長時代に期待されるアーバンフォームを検討する。 ・都市計画区域外を含めた地域全域の土地利用管理する手法として、景観法など関連制度の可能性を探る。 ・集約的土地利用を実現するための手法や事例を収集、分析する。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 主査：浦山益郎、幹事：飯田直彦、幹事：姥浦道生、明石達生、岡辺重雄、勝又齊、川上光彦、川崎興太、小浦久子、中出文平、松川寿也、山口邦雄、吉中美保子、和多治	
設置 WG (WG 名：目的)	地方都市の都市形成WG 地方都市を対象に、非成長時代における都市構造（アーバンフォーム）およびまちなか再生など集約型の都市づくりのあり方を検討する。	
2009 年度予算	215,000 円	ホームページ公開の有無：無

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 非成長時代に期待されるアーバンフォームおよび土地利用計画のマネジメントを検討する視点を討論し、今後の委員会活動の指針が得られた。 2. 高橋委員から西鉄の鉄道駅周辺の土地利用集約の取り組みの報告を受け、討論したほか、昨年度までの委員会活動の成果をもとに出版にむけて、我が国を中心に土地利用管理の手法や実践例を収集し、委員の間で共有した。 以上のことから本年度の活動計画はおおむね達成できたと評価する。
委員会活動の問題点・課題	1. 本年度は、次年度以降の委員会活動を進めるためのテーマ、地方都市の都市形成WGの運営方針を検討し、また来年度大会時のOSを建築社会システムの住ストック小委員会と共同で開催する準備をしたので、来年度はこれらの活動を実践する。 2. 欧米の都市情報を収集分析するため、新たに委員を1名補充する。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。